

機 巢

同窓会報
メールマガジン



岐阜工業高等専門学校 機械工学科 機巢会

目次

P-2	目次 & 会長挨拶		
P-3	2023 年度機巢会定期総会の報告	会長 飯沼 義徳	
P-5	機械工学科の現状について	山田 実	(24期生)
P-6	十五夜会(7期)同窓会報告	村手 雅子	(7期生)
P-7	長崎物語 第2弾	熊田 進	(9期生)
P-9	E&M+AD ゴルフコンペ	若井 政伯	(9期生)
	山登りの報告	太田 哲也	(6期生)
P-10	新編集委員の自己紹介	増井 勇一郎	(32期生)
P-11	編集後記		

会長挨拶

飯沼義徳 7期生

最近嬉しいニュースがありました。ご存知の方も多いと思いますが、ロボカップジュニア大会で岐阜高専チームが優勝し、フランスで7月に開催の世界大会に参加という快挙を成し遂げました。母校の活躍はOBとしてとても誇りで嬉しく思います。

機巢会は昨年、2年遅れで40周年同窓会を開催しましたが、本年は岐阜高専創立60年という記念すべき年になります。1期生の皆さんが卒業されて丸55年です。新型コロナウイルスも落ち着いて、機巢会定期総会を5月27日に4年ぶりに対面で開催することが出来ました。今後はクラス同窓会等も多くなり、会員の皆様の活動が活発になることを期待しています。

一般に、組織は年数を重ねると洗練され完成度が高まります。20代から70代の会員からなる本会も皆様に支えられて43年になりますが、まだ洗練された立派な同窓会とは言えません。明日の機巢会がより活動的で円熟した同窓会となるために、皆様の温かいご支援、ご指導を心からお願い申し上げます。



2023 年度機巢会定期総会の報告

新型コロナウイルスの影響で過去 3 年間は Web での総会となりましたが、4 年ぶりに皆様と対面で定期総会を開催し、すべての議案についてご承認いただきましたことに心より感謝申し上げます。総会終了後には懇親会にて皆様と楽しいひと時を過ごすことが出来ました。誠に有難うございました。2023 年度は、従来以上に内容の濃い活動にすべく新役員一同精進する所存です。何卒ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

日 時 : 2023 年 5 月 27 日 (土) 12:00~13:00

会 場 : ダイニングてっぺん 岐阜市県町 2-8 岐阜キャスルイン 10 階

参加者 : 32 名

議 案 【第 1 号議案】 2022 年度 活動報告…承認

1. 機巢会活動

- (1) 総会 (Web 総会) 2022 年 5 月 1 日~6 月 15 日
- (2) 役員会
 - ・2022 年 4 月 18 日~30 日 (メール役員会)
 - ・2022 年 9 月 16 日 (火)
 - ・2022 年 10 月 15 日 (土)
- (3) 40 周年同窓会 2022 年 11 月 20 日 (日)
- (4) 機関誌「機巢」メールマガジン発行
 - 2022 年 7 月 28 日 Vol.24
 - 2022 年 11 月 2 日 Vol.25
 - 2023 年 3 月 29 日 Vol.26

2. 若鮎会における活動

- ①役員会 2022 年 5 月 22 日 (日)
- ②若鮎会連携事業室 中核人材育成塾
2021 年より再開しスタートアップ、ベーシック、アドバンスの 3 コース実施中

3. 岐阜高専に対する協力

- ①高専祭 スポンサー協力

4. 岐阜高専機械工学科に対する補助

- ①公開講座「きのくにロボットコンテスト小学生部門/中学生部門」
- ②ロボカップジュニア (3 月 24 日~26 日)
World League Rescue Maze 競技部門 1 位 世界大会へ出場予定
- ③技術士一次試験の補助 受験生 15 名 合格 6 名

【第 2 号議案】 2022 年度 決算報告、会計監査報告…承認

(収入の部)

項目	金額	備考
郵便局利子	85	
2 年度会費	390,000	39 人分
大垣共立定期利子	7	
大垣共立普通利子	2	
メルマガ編集補助金返金	78,859	
合計	468,953	

(支出の部)

項目	金額	領収書
役員会会議費	13,541	①
メルマガシステムサービス料 (8-10 月分)	7,260	②
メルマガシステムサービス料 (11-1 月分)	10,340	③
メルマガシステムサービス料 (2-4 月分)	10,340	④
Web サイトランニング費用	13,110	⑤
メルマガ編集会議 (10/15)	4,000	⑥
2021 年度技術士一次試験補助	63,000	⑦
技術士一次試験申込書送料	570	⑧
2021 年度末払い分 (機械設計技術者試験)	122,000	⑨
技術者試験補助金両替手数料	550	⑩
公開講座 1 回目補助 (8/8)	10,141	⑪
公開講座 2 回目補助 (10/9)	13,768	⑫
高専祭 スポンサー広告代	10,000	⑬
廣瀬先生最終講義花束	4,000	⑭
ロボカップジュニア補助	50,000	⑮

機巢会 40 周年同窓会補助	694,707	⑯
メルマガ取材費	800	⑰
メルマガ編集会議	18,049	⑱
合計	1,046,176	

468,953 円 (収入) - 1,046,176 円 (支出) = ▲577,223 円

不足分は剰余金から補填いたします。

上記の通り収支報告いたします。

令和 5 年 3 月 31 日 機巢会会計 石丸和博

監査の結果、相違ありませんでした。令和 5 年 4 月 30 日

機巢会会計監査 森清高、中野廣幸

【第 3 号議案】 2023 年度 活動計画…承認

- 機巢会活動
 - 総会役員会
 - 機関誌「機巢」メールマガジン発行
 - 学生に対する支援活動 ・高専祭助成・留学支援・資格取得支援
 - クラス同窓会補助
- 岐阜高専機械工学科に対する支援 ・オープンキャンパス・公開講座等への補助
- 若鮎会における活動

役員を選出し各種行事に協力する
- 岐阜高専に対する協力等

岐阜高専地域連携協力会の中核人材育成塾に講師を派遣する
- 交流会に協賛

機巢会会員がかかわる交流行事への補助

【第 4 号議案】 2023 年度 予算…承認

(収入の部)

費目	金額	備考
2023 年度会費	350,000	
合計	350,000	

(支出の部)

費目	金額	備考
会議費	150,000	
総会	50,000	前年度予算同額
役員会	100,000	同上
各種補助	50,000	同上
同窓会補助	200,000	同上
高専祭助成	200,000	同上
留学支援	30,000	同上
機械設計技術者試験支援	100,000	同上
機械工学科公開講座補助	150,000	同上
交流会	10,000	同上
広報費	45,000	同上
メールマガジン、ホームページ		
事務費		
予備費		
合計	1,085,000	

【第 5 号議案】 2023 年度 役員…承認

役職	氏名	卒業期	備考
会長	飯沼 義徳	7 期	
副会長	山田 実	24 期	機関誌編集委員、ホームページ編集委員
会計	石丸 和博	18 期	事務局
会計監査	中野 廣幸	4 期	
事務局長	太田 哲也	6 期	機関誌編集委員長、ホームページ編集委員長
理事	若井 政伯	9 期	機関誌編集委員
理事	熊田 進	9 期	新任 機関誌編集委員
理事	中尾 賢治	15 期	機関誌編集委員、ホームページ編集委員
理事	梅田 茂之	25 期	新任 機関誌編集委員
理事	伊藤 友祐	33 期	
理事	小林 光希	52 期	機関誌編集委員
顧問	桑原 喜代和	1 期	
顧問	三〇 栄一	1 期	
顧問	岩井 静克	2 期	
顧問	長谷川 実	2 期	
顧問	青木 健	3 期	

(備考) ・太田哲也が事務局長に就任 ・熊田進、梅田茂之が理事に就任・青木健が理事を退任し顧問に就任
・山本高久(事務局長)、森清高(会計監査)は一身上の都合により退任

機械工学科の現状について

機械工学科 山田実

梅雨の季節になり、岐阜高専に植えてあるあじさいもきれいに花を咲かせました。

【令和4年度進路】

令和4年度卒は39名で、その内就職が14名、進学が25名と進学が多い状況でした。就職に関しては求人件数が668件と昨年並みとなっています。景気のパロメーターである求人件数ですが、ここ数年は600件台で割と高い水準で安定しています。就職先は次の通りです。

キヤノンメディカルシステムズ、麒麟ビール、旭化成、神鋼造機、CKD、京セラ、エヌテック、JR 東海、牧野技術サービス、エーザイ、浜松ホトニクス、サントリー、ナブテスコ(2名) (順不同)



専攻科棟のあじさい

JR 東海、旭化成はほぼ毎年就職しています。最近ではエーザイ、ナブテスコ、サントリーも多いです。ここ20年で初めて機械工学科から就職する企業も3社含まれています。

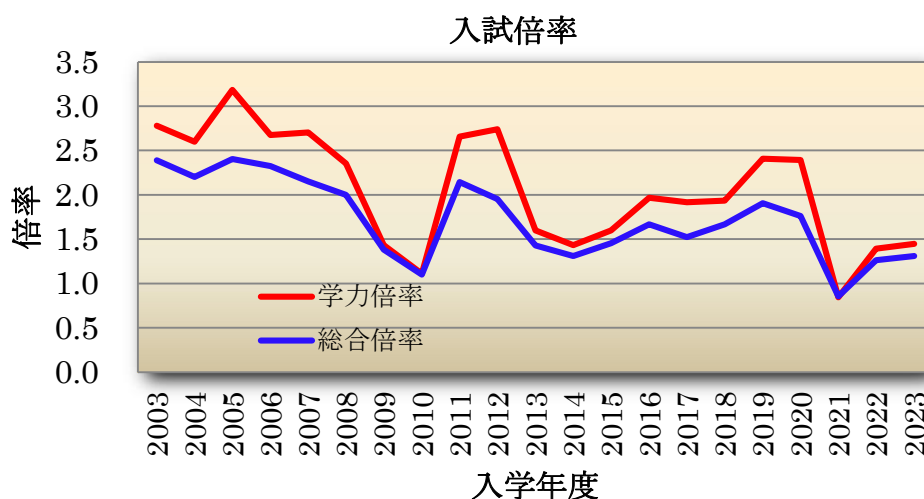
また、進学先は次の通りです。

千葉大学3名、金沢大学2名、岐阜大学5名、三重大学1名、長岡技術科学大学5名、豊橋技術科学大学2名、大阪大学1名、岐阜高専専攻科5名、富山県立大学1名。

東海北陸地方の大学が多いですが、関東、関西の大学に挑戦する学生も毎年何人かいます。技科大は最近では長岡技科大への入学者が多い傾向にあります。

【令和5年度入学】

令和5年度1年次に入学した学生の入試では、推薦合格者が13名、学力合格者が29名でした。学力だけをみると学力志願者数が42名でしたので、学力倍率は1.45です。推薦も含めた倍率（総合倍率）は1.31です。下のグラフに示すように総合倍率が1.5前後で推移していたところから若干減少しています。これには少子化やコロナ禍による高専のPR不足などさまざまな原因が考えられると思います。



十五夜会(機械工学科 7 期 同窓会)

岐阜 長良川鵜飼開きの日に 開催しました！

報告者： 村手雅子

『日時』 2023 年 5 月 11 日～12 日

『場所』 長良川河畔 十八楼

参加者： 浅野秀彦、飯沼義徳、坂井浩司、高木信行、竹中信行、土谷敏彦、寺倉敏明、部田勝敏、中居仁司、西川哲雄、西村省三、平井繁利、藤嶋清隆、宮部宏、山内茂充、溝口玄、村手雅子

十五夜会はコロナ前、年 2～3 回開催していましたが、今回は久々の開催となりました。前回は還暦のお祝いでした。今回は古希のお祝いです。鵜飼開きの日に予約するのは大変でしたがメンバーの一人が手配してくれました。古希の記念にふさわしい 160 年以上歴史のある老舗旅館十八楼での開催です。17 名の参加があり、それぞれの近況を報告しあいました。二次会は鵜飼観覧です。若い女性の船頭さんと男性船頭さんの 3 人でした。鵜飼船は 6 隻。とても間近で見ることが出来ました。

次の十五夜会スペシャルは 10 年後ではなく、5 年後がいいねと話して別れました。



長崎物語 第 2 弾

新入社員からずっと長崎で

熊田進(9 期生)

1976 年三菱電機に入社し長崎製作所に配属となり、2、3 年したら転勤で戻ってくると
思いきや、長々と 30 年近く長崎で暮らしました。

前編 (No. 25) で長崎のくらしや名所についてお話ししました。今回も隠れた長崎の魅力に
ついて書きたいと思います。

～スイッチバック～

長崎市内から車で北に 15 分ほど走ると大村湾にでる。この
辺りは海に向かって山々が落ち込んでいて、山の斜面でみかん
やぶどうの栽培が盛んだ。会社従業員にも栽培農家の方がおり、
みかん収穫の手伝いに行ったり、巨峰を実家に送ってもらった
りした。

今の長崎本線は諫早と長崎をトンネルでつないでいるが、旧
線は山々を避けるように海のみえる西彼杵(にしそのぎ)を通っ
ていた。その途中、本川内駅ではスイッチバックがあった。山
の中で列車は止まってなかなか出発しない。運転手が車内を前か
ら後ろに歩いていき反対方向に動く。聞いたことがあるが、長崎
にあるとは知らなかった。大村湾とみかん畑にスイッチバック、
まったくのどかな感じを味わった。現在は傾斜の改善をしてス
イッチバックは解消された。プラットフォームは残っているようだ。



～名所～

下の写真をご覧いただきたい。けん玉のように巨岩の球がこれも巨岩の柱の上に乗っかっ
ている。乗っかる岩は 7m 程あり、絶妙なバランスでそびえたっている。別名「鯖くさらか
し岩」を呼ばれるこの奇岩は、鯖を売る魚屋が「きっと落ちるに違いないから落ちるまで待
とう」と鯖を腐らせたという逸話がある。長
崎から佐世保に抜ける 206 号線がすぐ下
を通っており、注意していないと見逃して
しまう。最近は地元時津町が「どがんしても
落ちな岩」として「合格祈岩」の PR を進め
ており、ふるさと納税でサバ缶を返礼品に
している。



～皿うどん～

長崎のじげもんは、ちゃんぽんより皿うどん好きが多い。リンガーハットでもメニューにあるので知っている方もいるだろう。揚げた細麺に野菜と海鮮のあんかけ、こちらではバリそばというようだ。



酢をかけて食べるが、本場ではチョウコーのウスターソースをたっぷりかける。箸で上から押さえて麺をバリバリと割って、あんをからめ食べる。細麺が人気だが、ちゃんぽん麺を使った太麺皿うどんもあるので試す価値ありだ。

長崎駅前のバスターミナル近くに飛龍園という町中華があり、出張帰りに皿うどんとビールで打ち上げるのがルーチンだった。すでに閉店したようだ。デカイサンプルが目印だった。

～温泉～

前編では雲仙温泉を紹介した。雲仙岳のふもとの橘湾に面した小浜温泉もにぎやかな温泉だ。いずれも島原半島にあり長崎から車で2時間ほどかかる。

長崎市内ではホテルかスーパー銭湯だろうが、唯一天然温泉がある。道ノ尾温泉といい明治元年創業のラジュウム温泉だ。明治時代は長崎港に入った外国船水兵も楽しんだという。無色無臭で透き通った透明度の高い湯である。独身寮の近くにあり、風呂のない日曜日にはよく利用した。よく温まり、ひなびた銭湯といった感じが好きだった。

～大石先生～

長く暮らした長崎をはなれ、転勤で桑名に引っ越すことになった。当初単身赴任だったが、中古一戸建てに家族をよんだ。庭が広くて、雑草や木の剪定に手を焼いていた。まだ長崎ナンバーの車を見て、植木屋さんが声をかけてくれた。自分も長崎出身で兄さんは三菱重工に勤め、剣道をしているという。大石先生の弟さんだった。

中学から始めた剣道は入社してからも続けていた。会社は違うが重工剣道部でも毎週稽古していた。大石先生はその時の主将で、180cmを超える巨漢で豪快な人だった。こんなところでこんな人と会える、なんて不思議なご縁だろう。今も剪定をお願いして、長崎の話を教えてくれる。

長崎の暮らしは、自然の美しい景色や郷土料理、温泉など、楽しみがたくさんあります。また、人々の温かさやおおらかさも魅力の一つです。一度足を運んでみてください。長崎の魅力にきっと惹かれることでしょう。

おわり

E&M+AD ゴルフコンペ開催

5月30日 岐阜北カントリー倶楽部にて、E&M+AD ゴルフコンペが開催されました。このコンペは、機械、電気のOB有志によるコンペでしたが、最近では建築、電子制御のOBも加わりE&M+AD コンペとして年数回、開催しています。

当日は事前の雨予報がうそのような晴天で、絶好のコンディションのなか、3組11名の参加者は、大いにゴルフを楽しみました。

ちなみに、次回は8月28日に14hillsカントリークラブにて開催されます。夏場恒例の避暑地開催で、希望者は宿泊、2dayプレイも可能です。幹事は3E 坂井善幸さんですが申し込みは当方でも受け付けますのでご連絡ください。
(9期生 若井政伯)



岐阜北カントリークラブ

山登り 有志の会

4月29日、揖斐川町の城ヶ峰(352m)と揖斐城址(450m)に登りました。年に4回ほどの山登りですが、今回は6M7Mの6名でした。参加者はほぼ70歳。途中弱音も吐かず山頂での昼食は最高でした。無理のない行程なので新規参加者は大歓迎です。もちろん家族や友人知人の参加も歓迎します。

次回は涼しくなったところに企画しています。

(6期生 太田哲也)



揖斐川町の三輪神社をお参りしてか出発。山の中腹にあった揖斐城。

新編集委員の自己紹介

32M 増井勇一郎

この度、機関誌の編集委員をさせていただくことになりました32M 増井勇一郎です。私の高専に纏わるストーリーをご紹介させていただきます。

在学中の担任は1・2年亀山太一先生（一般人文）、3年石丸和博先生（熱力）、4・5年山本雄三先生（流体）で、現在も公私共に大変お世話になっております。また雄志寮では人生で二度と経験できないくらい明朗で豊か過ぎる生活を送ることができました。現在は同級生、地域の皆様、教職員先輩方、後輩の皆さんと私自身の家族（特に両親）には感謝してもしきれないくらい感謝しております。

現在は岐阜工業高校（航空機械工学科）の教師をしています。高専の先輩後輩の皆様方には、県内の高校への求人や授業における技術をご提供して頂くなど、多くのご支援を賜り、改めて感謝申し上げます。

次に高専を志した理由をお話します。岐阜県北部の上宝村（現高山市）という大自然の中で生まれ育ちました。高専の機械工学科を志したことには理由が2つありました。

1つ目は実家が兼業農家で、特に稲作をしているときに農業機械のトラブルで祖父と父が喧嘩するシーンを多く見受けました。毎年恒例なほどの争い？を見るのは嫌で仕方ありませんでした。またほぼ永遠に続く農作業の疲労感も半端なく逃げ出したいくなりましたが、その場から逃げ出すことはできません。そこで当時知識が無いながらも自分なりに思い描いた設計図を新聞広告の裏面に書いていた記憶があり、設計（簡単に言えば無人化農業）を開発して、「全国のそういったトラブルを減らし、楽夢農業を実現させるための工学を学びたい」と思い志しました。

2つ目は、現在、岐阜工業高校設備システム工学科主任の山口剛正先生（当時神岡町立神岡工業高等学校に赴任されていた）の存在です。ちなみにご子息は高専M科OBです。私が「師匠」と呼ぶくらいお世話になっていますが、「形状記憶合金・太陽ボート」のワークショップを実施された所をたまたま目の当たりにして、脳天にイナズマが落ちたような衝撃を受け、工学の真髄と物事を探究しこどもたちに教えることも面白そうだなということもあり工学を学べる高専を目指しました。

余談ですが2017年には稲刈りの為に帰省した際に、日本テレビの「1億人の大質問!? 所さんの、笑ってコラえて! ダーツの旅」の村人として“運よく”出演させて頂きました。年末のグランプリでは惜しくも村人グランプリを逃しました。

最後に、今後の夢は次の世代へ負の遺産を極力残さないように、自分たちでできることを多くの方々と有機的なつながりとコミュニティを形成しながら、特に高専独自のブランディングができたかと考えております。高専は人生を切り拓くための影響力が非常に強いことも魅力的で、こういったレアリティ抜群な組織が今後もさらにイノベートされるような恩返ができたと思います。

編集委員のみならず、高専OBとして出来ることは精一杯お手伝いさせていただきますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



編集後記



6M
太田哲也

大リーガーの大谷選手の活躍がとても楽しみです。天は二物を与えずと言われてきましたが持っている人は全て持っているんですね。

無理をせず努力もしなくて気づいたら老人になっていたような、そんな人生でしたが、ここにきて同窓会のお手伝いが出来るのは感謝ですね。

機関誌を作成するのは楽しいです。



9M
若井政伯

名古屋港のサイバー攻撃で、中国より入荷予定の製品が到着せず大変なことになっています。



9M
熊田進

近頃シャンクが頻発しています。ゴルフクラブの遠心力に負けてボールが手元に当たっているようです。年齢とともに筋力・体力が変わっているから、アドレスのスタイルも柔軟に変えていくべきですね。克服目指してがんばっています。



15M
中尾賢治

還暦くらい忙しい社会人人生をと思い、59歳で今の会社へ転職しました。

忙しいのはいいのですが、体が不調を来たし始めました。歳には勝てません。



24M
山田実

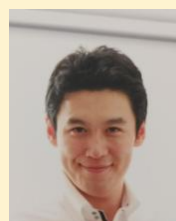
機械工学科3年生2名を含むチームがフランスで開催されるロボカップジュニアの世界大会に参加するあたり機巢会、OBの方からは多くの支援を頂きありがとうございます。このように学内にはがんばっている学生が多くいますので、このメルマガの中でも紹介していけたらと思っています。



25M
梅田茂之

4月の記念碑の清掃、5月の総会に立て続けに参加させていただき、新たに編集委員となりました。以前 Vol.4 冬号で「親子二代で機械工学科へ」と寄稿しましたが、その娘もいよいよ来年修士を得て就職！

今は立川市の自治会の盆踊り大会でヘトヘトです（汗



32M
増井勇一郎

6/24(土)の編集会議で頂いた太田編集長自慢のコーヒーの味が格別でした。会議後、加納の「ピストロ ホームバウンド」で浜田省吾の「I am a father」をBGMに頂いたカレーランチも最高でした。最後に、多くの先輩方と一緒に過ごせた時間は「priceless」でした。出会いは一生の宝物だとつくづく実感しました。



52M
小林光希



発行日／2023年7月15日

責任者／飯沼義徳

発行／岐阜工業高等専門学校機械工学科同窓会「機巢会」編集室

〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236番地2

TEL 058-320-1343

<http://gifu-nct.com/>